

令和6年度 江戸川区立平井小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	やりぬく平井の子 やりぬく心 やりぬく体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> わかった、できた、学ぶ楽しみがある学校 友達いっぱい、今日も行きたい学校 地域を大切に地域に愛される学校 よく聞き深く考え表現できる子ども 違いを認め合い思いやりあふれる子ども 勇気をもって一歩を踏み出せる子ども 子どもの可能性と意欲を引き出す教師 人間味あふれる教師 プロ意識をもち、自ら学び自ら高める教師
前年度までの本校の現状	成果 子どもたちが自ら課題を見出し、解決の課程で仲間と共に試行錯誤しながら自己の学習を調整し粘り強く取り組む学びを全教科・領域で実現を図った。	課題 自他のよさを認め、すすんで学びに向かう学習集団を目指し、次の学びにつなげていこうと自己調整を行えるように振り返りの場を大切に指導していく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度			「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		
学力の向上	○教員の指導力向上、基礎学力の保障、学習習慣の確立	○学校と民間業者による補習教室の実施 ○よむYOMUワークシートの実施（年間30回） ○ベーシックドリルの活用（年間3回） ○ミライシート活用 ○「江戸川っ子study week!」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査⇒都の平均以上 ・ベーシックドリル診断テスト、学力定着度調査⇒正答率5%向上 ・学習に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90% 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のための新しい取り組みが始まった。少しずつ軌道に乗せていく。ベーシックドリルの正答率を上げていきたい。 ・自分の意見の理由を伝える力を伸ばしていきたい。安心して発表できる環境づくりを心掛けていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の取り組みが始まり、先生方への負担が気になる。働き方も考慮しながら、子供たちのためになるように工夫してもらいたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の取り組みに対して、より効果が上がるように、取り組んできたことを整理し、計画的に落ち着いて取り組めるように体制づくりをしていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んできたことに対して効果が見られているので、今後も計画的に指導を行って欲しい。 ・子供達が意欲的に学習に向かえるように日々先生方が準備されているからこそその結果であると考え、今後も児童の学習意欲を大切な授業を展開していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを分析し、苦手な内容についてポイントを絞って取り組めるようにする。 ・校内研究を通して、子供たちが中心となって活躍するような授業改善を行っていく。 	
	○読書科の更なる充実	○年間1回の授業公開 ○読書活動の充実（あじさい読書週間、どんぐり読書週間など）	<ul style="list-style-type: none"> ・読書科に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90% 	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室を利用する児童は増えてきている。読書週間や読み聞かせなどを積極的に行っていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開で読書科の授業の様子を見させていただいた。今後も他学年での授業の様子を見てみたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・読書は取り組んでいるが、学習の場面に活用できていない。読書科を通して学校図書館の活用方法を改善し、課題解決を行っていくようにする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用が進み、読書離れがささやかれるので、今後も読書を生かした学習を大切に、読書に親しむ児童が増えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習となるように各学年で指導内容の見直しを図る。 	
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	○なわとびチャレンジ週間の実施（年間3回） ○なわとび出前授業の実施 ○朝の「ゆうゆうタイム」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト調査⇒都の平均以上 ・体力向上に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90% 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の取り組みである「なわとび」への取り組みを継続できるような工夫が必要。 ・体力テストの結果を検討し、苦手な分野について改善を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差、学年差があるようなので、楽しみながら体力向上できるように取り組みを工夫してもらいたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・都の平均を下回った種目の補助運動や能力を高める要素が入っている運動遊び等を体力向上委員会から提案し、体育やゆうゆうタイムで実施する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度取り組んできたことが結果に出てくれることを楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTなどで教師が授業等で活用できる運動例を提案していく。 	
	○ゆゆうタイムの充実	○ゆゆうタイムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆゆうタイムを楽しみにしている児童が多い。休み時間も外遊びに取り組む様子が見られるので、継続していきたい。 	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きだと感じている児童がたくさんいることは、先生方の指導のおかげなので、継続してもらいたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に夢や希望を感じている児童の割合が多いこと、目標を達成しようと努力している児童が多いことが素晴らしい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の関係で運動する時間の確保が難しかった。体育館が使用できない期間は、校庭や屋上を利用して運動する機会を確保する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆゆうタイムなどで工夫して取り組む様子が伝わってきた。運動に親しむ子が増えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆゆうタイムを継続し、子供たちが活用できる運動遊びも更新していく。 	
教育の推進	○違いを認め合い思いやりあふれる子どもの育成	○全教育活動における道徳教育の充実 ○花いっぱい運動の実施 ○異学年活動の実施 ○校内外のボランティア活動の推進 ○「平井ふしカル」との交流活動 ○キャリアパスポートを通じたキャリア教育の充実 ○小中連携（9年間を見通した学習・生活指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90% 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を通して、違いを認め合うことの大切さを指導していく。 ・キャリアパスポートの効果的な活用方法を検討していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に夢や希望を感じている児童の割合が多いこと、目標を達成しようと努力している児童が多いことが素晴らしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用した振り返りを行うことで、自身の成長を感じている児童が増えた。 ・縦割り班で休み時間も他学年と遊ぶ姿が見られる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動など、取り組んできたことから学んだことが引き続きつながり、様々な活動に広がって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招き、将来について語ってもらえるような機会を計画していく。 	
不登校・いじめ対応の充	○勇気をもって一歩を踏み出せる子どもの育成	○「平井っ子家庭ルール週間」の徹底 ○SNS ルールの定着 ○挨拶・着帽・名札の徹底 ○食育の推進 ○HyperQ-Uを活用した生活指導 ○児童の変容把握シートの作成・更新・活用 ○エンカレッジルームの活用 ○個別支援計画の作成 ○SSW・SCとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート（年3回） ・HyperQ-U実施、校内でのQ-U研修の実施（年1回） ・体罰に関するアンケート（年1回） 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もアンケートを行い、実態を把握しながら、いじめをなくしていくように指導を行っていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見守り、一つ一つに対応して下さっていることに感謝しています。今後もお願いいたします。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年11月現在、いじめ認知件数は207件で、うち190件については解決し、現在17件について対応中である。個々の案件について丁寧に話し合い、解決に向けて、全職員で取り組む。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な案件に対応している様子が伝わった。子供たちが安心して活動ができるように、今後も継続した見守りをお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発見、早期対応ができるように今後もアンケートを継続していく。 	
	○児童の安全・安心な学校生活を送れるように組織的に対応	○児童の安全・安心な学校生活を送れるように組織的に対応	<ul style="list-style-type: none"> ・HyperQ-Uの結果をもとに、全ての児童が安全・安心な学校生活を送れるように組織的に対応できた。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実態を把握し、効果的な対応をお願いしたい。児童のよりよい人間関係形成ができるように支援をしていただきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方も様々な業務を抱え、一人一人の対応を考えて下さっているので大変だと思いますが、報連相をしっかりと行い、対応していただきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰や不適切な指導を行わないために、教職員間で指導上の悩みを相談したり、児童への言動を意識的に振り返ったりしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの人間関係を分析するために有効な資料であることが分かった。今後も活用を続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の施策で、L-Gateを活用して子供たちの情報交換を行い、児童理解を図る。 	
	○体罰に関するアンケート	○体罰に関するアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰に関するアンケート（年1回） 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰を起さないための環境づくりをすることは大変なことである。継続して体罰のない学校にして欲しい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方も様々な業務を抱え、一人一人の対応を考えて下さっているので大変だと思いますが、報連相をしっかりと行い、対応していただきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰や不適切な指導を行わないために、教職員間で指導上の悩みを相談したり、児童への言動を意識的に振り返ったりしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰を起さないための環境づくりをすることは大変なことである。継続して体罰のない学校にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰に関するアンケートを毎月行っていく。 	
学校（園）開かれた地域社会の実現	○地域との交流の場の確保	○PTA 活動・主催行事、地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の参加率60%以上 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチボール大会などのPTA主催の行事に参加できた。2学期は、PTAによる平井小まつりが行われるので、参加していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、たくさんの先生方に参加いただき、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のPTA行事への参加率が低かった。関りをもっていけるように年間を通して計画していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい時間を割いて、参加いただいた先生方には感謝しています。今後もご協力いただければ幸いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めに分担を行い、できるだけ地域の行事に参加できるように調整していく。 	
	○学校ホームページの充実	○ホームページ、Tetoruでの情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとの更新 ・保護者への配布物の配信、更新 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやTetoruを活用しながら、情報公開を行ってきた。普段の活動の様子についても、HPなどで情報公開していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに毎月発行されるお便りがアップされたり、Tetoruで配信していただけるので、大変助かっています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙関係の更新はしっかりと行うことができたが、HPのブログを通じての更新が滞ってしまった。各学年で定期的に取り組みたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の様子がより伝わるような工夫をしていただけると、様子が分かる。安心して学校へ通わせることにつながるので、お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを活用して学校での様子を更新していけるように計画を見直す。 	
	○学校関係者評価の充実	○児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回実施 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・よりたくさんのご意見をいただき、よりよい学校運営を行っていけるよう、アンケートにご協力いただきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を活用し、効果的な活動であるかを振り返られていることがよい。よりよい教育活動となるよう期待している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・追加で保護者に呼びかけたことで、よりたくさんの皆さんにアンケートに答えていただけた。この声をしっかりと受け止め、学校改善に努めていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを通して、たくさんの保護者に、学校をよりよくしていくためにはどうしたらよいか一緒に考える機会にできればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での取り組みの様子を理解し、協力いただけるように情報公開をしていく。 	
教育の特色ある展開	○協働的な課題解決型学習の推進	○研修内容の精査	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員の授業公開（年間1回） 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協働的に課題解決していきけるような工夫を考え授業改善をされていることがよく分かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協働的に課題解決していきけるような工夫を考え授業改善をされていることがよく分かった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を踏まえた課題解決のための方法を、各学年で考え、授業改善を図ることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方がお互いの授業を見合い、改善を図ることが一番よいことだと感じる。研鑽を重ね、よりよい授業をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の取り組み方を再度検討し、年間通じて目指す児童の姿に近付けるように授業改善を図る。 	
	○OJTの充実	○OJT体制の整備 ・管理職→主幹 ・主幹→主任 ・主任→教諭 ・メンター、メンティー制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの先生からOJTで普段取り組んでいることを紹介してもらったことで、明日の授業に生かしたいという意欲がわいてきた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの得意分野を学び合うことで、自分に足りない部分が見えてくるのは素敵なことだと考える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、計画的にOJT研修に取り組むことができた。より得意な分野について深く学ぼうとする姿が見られた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会を大切にしていることが伝わってきた。意識せずとも、普段の同僚な会話の中から学ぶことがたくさんあるので、コミュニケーションを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気兼ねなく相談がしやすい職員室の雰囲気をつくっていく。 	